

第1回7月 九大本番レベル模試 (2020年7月12日実施)

採点基準 英語

配点表

大問	小問	内訳	小問得点	大問得点
〔1〕	問1	記述	12	48
	問2	客観	5	
	問3	客観	5	
	問4	記述	14	
	問5	記述	12	
〔2〕	問1	記述	14	48
	問2	記述	14	
	問3	客観	5	
	問4	記述	10	
	問5	客観	5	
〔3〕	Q1	記述	12	47
	Q2	記述	10	
	Q3	記述	10	
	Q4	記述	10	
	Q5	客観	5	
〔4〕		記述	30	30
〔5〕	(1)	記述	12	27
	(2)	記述	15	
合計		記述	200	200

【1】 一問1 (12点満点)

〈問題部分〉

下線部(1)は、8 万年前のネアンデルタール人の暮らし方と身体的特徴について、どのような可能性があることを示すものか。第1 段落の内容に即して、日本語で述べなさい。

〈解答例〉

それまで考えられていたよりも、集団で暮らしていた可能性がより高く、また、背がより高かった可能性がある。

【下線部(1)】

Scientists have found (1)hundreds of perfectly preserved footprints, providing evidence that Neanderthals walked the Normandy coast in France.

「科学者たちは、(1)完全な形で保存された何百もの足跡を発見したが、それらはネアンデルタール人がフランスのノルマンディーの海岸を歩いていた証拠を提供している。

【該当箇所】

The 257 footprints discovered at Le Rozel in western France suggest that Neanderthals are more likely to have lived in groups and may have been taller than previously thought 「フランス西部のル・ロゼルで発見された 257 個の足跡は、それまで考えられていたよりも、ネアンデルタール人が集団で暮らしていた可能性がより高いこと、また、背がより高かった可能性があることを示している」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

該当箇所	配点	備考
① 暮らし方 ・ are more likely to have <u>lived in groups</u> (<u>集団で暮らしていた可能性</u> がより高い)	4 点	「集団で暮らしていた／集団生活をしていた」ことが必須。
② 身体的特徴 ・ may have been <u>taller</u> (<u>背がより高かった可能性</u> がある)	4 点	「背が高かった／長身だった」ことが必須。
③ ・ <u>than previously thought</u> (それまで考えられていたよりも)	4 点	これに相当するものが抜けているものは、この区分減点。
<p>※その他、部分的な表現に難がある箇所は1 箇所につき－1 点。 ※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても 0 点。</p>		

【1】 一問4 (14点満点)

〈問題部分〉

下線部(3)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

素早く保存された足跡によって、考古学者たちは、長期間にわたって1カ所に積み重なることがある化石の場合よりも、より正確に社会集団の大きさを推定することができる。

【下線部(3)】

Rapidly preserved footprints enable archaeologists to better estimate social group sizes than fossilized remains that can accumulate in one site over time.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
Rapidly preserved 素早く保存された [される]	2点	・ footprints を修飾する過去分詞であることが分かっているものは不可。
footprints enable 足跡は可能にする／ 足跡によって可能になる [できる]	2点	
archaeologists to better estimate 考古学者がより上手く推定することを／ 考古学者はより上手く推定できる	2点	・ estimate は「見積もる, 判断する」など
social group sizes 社会集団の大きさを	2点	・ social group は「人の集団」も可。 ・ group に「グループ」は不可。
than fossilized remains 化石 [化石化した遺物] (の場合) よりも	2点	・ fossilized remains は単に「化石」「化石になったもの」など可。
that can accumulate 積み重なることがある	2点	
in one site 1つの場所に／1カ所に	1点	・ site は「土地」なども可。
over time 時とともに／時間をかけて	1点	
・ 区分内に1カ所でも誤りがあれば、その区分は-0点。		

【1】 一問5 (12点満点)

〈問題部分〉

Duveau が下線部(4)のように述べている理由を、それ以前の状況も含めて、日本語で具体的に述べなさい。

〈解答例〉

それまでわずか 9 個しか見つかっていなかったネアンデルタール人の足跡が、257 個も見つかり、その多くを破壊される前に保存することができたから。

【下線部(3)】

And (4)we've been blessed with it. (そして(4)私たちはそれに恵まれた)

【根拠となる箇所】

第1段落：The 257 footprints (257 個の足跡)

最終段落：Many of the prints were lifted from the site to be preserved elsewhere.

(足跡の多くは、他の場所で保存するために現場から持ち出された)

only nine Neanderthal footprints had been found

(ネアンデルタール人の足跡は 9 つしか見つかっていなかった)

●次の①～④の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
① 3点 ネアンデルタール人の足跡(は)	・「ネアンデルタール人の」がないものは－1点。
② 3点 わずか9つしか見つかっていなかった(が)	・漠然と「少なかった」だけで、 「9」という具体的数字がないものは－1点。
③ 3点 257 個も見つかり	・漠然と「たくさん(見つかった)」だけで、 「257」という具体的数字がないものは－1点。 「200以上」「数百」など具体性があるものは認める。
④ 3点 その多くを(破壊される前に)保存する [持ち出す] ことができた	・「多く」でなく「すべて」のように解されるものは－2点。
<p>※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても 0 点。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は 1 箇所につき－1点。</p>	

【2】 一問1 (14点満点)

〈問題部分〉

下線部(1)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

こうした戦略は、日常生活で人々が行う多くの選択を支えており、人間の異常なほど協力的なやり方がどのように進化してきたかを明らかにする。

【下線部(1)】

These strategies underpin many of the choices people make in everyday life, and shed light on how our unusually cooperative ways have evolved.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
These strategies underpin ~ こうした [この] 戦略は, (～を) 支えている	2点	・ underpin は「～を支える [支持する, 下支えする], ~の土台 [根拠, もと] となる」など。
many of the choices 多くの選択を/選択の多くを	2点	
people make in everyday life 日常 [日々の] 生活で人々が行う [下す] (選択)	2点	・ choices を修飾する節であることが分かっていないものは不可。
and shed light on ~ そして (～を) 明らかにする	2点	・ and の訳は不問。 ・ 「明らかにする, ヒントを与える」など。 ・ 「～に光を当てる [投げかける]」など。
how ~ have evolved. どのように進化 [発展, 展開] してきたかを	2点	・ shed light on の目的語になる節であることが分かっていないものはこの区分減点。
our unusually 人々 [私たち] の異常なほど	2点	・ our は「人間の, 人類の」なども可。 ・ unusually は「普通でないほど, 異常に, 類いまれな」など。
cooperative ways 協力的なやり方が	2点	
・ 区分内に1カ所でも誤りがあれば, その区分は-0点。		

【2】 一問2 (14点)

〈問題部分〉

下線部(2)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

特定のメカニズムが関与する場合に限って、自然淘汰は、競争相手の適応度を増加させるために自らの適応度を低下させる個体を選ぶ可能性がある。

【下線部(1)】

Only if certain mechanisms are involved can natural selection favor individuals who reduce their own fitness to increase that of a competitor.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
Only if ~ ~の場合に限り/~のときだけ/~ならば	2点	・「~ならば」でもよい。
certain mechanisms 特定のメカニズム [仕組み] が	2点	
are involved 関与する/関係する	2点	・「巻き込まれる」は不可。
can natural selection favor ~ 自然淘汰は、(~を) 選ぶ可能性がある	2点	・ favor は「好む」も可。
individuals who reduce ~ (~を) 低下させる個体を	2点	
their own fitness 自らの適応度を	2点	・ fitness は「適性, 適合性, 適応性」なども可。
to increase that of a competitor. 競争相手の適応度を増加させるために	2点	・ that = fitness (適応度) が分かっていないものは不可。
・ 区分内に1カ所でも誤りがあれば、その区分は-0点。		

【2】 一問4 (10点)

〈問題部分〉

下線部(4)の実験において、donor はどのような人にお金を送る傾向があるか、日本語で具体的に述べなさい。

〈解答例〉

それ以前のやり取りで、他の人にお金を送った人。

【下線部(4)】

(4) A typical set-up involves students and computer screens.

(代表的な設定は、学生とコンピューター画面によるものだ)

【該当箇所】

One person, the donor, is asked if she wishes to transfer some money to the recipient. She is informed about the recipient's decisions in previous rounds with other players. The experiment shows that people base their decision on what the recipient has done before. Generous people are more likely to receive donations.

(片方が寄付者となり、受取人にお金を送りたいかどうか尋ねられる。寄付者は、受取人が他の参加者に対して、それまでに下してきた決定について知らされる。この実験では、人は受取人がそれまでにしてきたことに基づいて意思決定を行うことがわかる。寛大な人は、寄付を受け取る可能性が高い)

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

配点	項目
① 2点	それまでに [以前に] / それまでの回で / それ以前の実験で ※「前の」(previous / before) の意味がないものは不可。 単に「実験で」などはこの区分0点 (-2点)。
② 8点	(受取人 [相手, 他の人] に) お金を送った [渡した] 人 ※ () 内の「~に」はなくても不問。 ※「お金を送る人」と現在で述べているものはこの区分-4点。 ※「お金を送った」の代わりに「寛大だった人」(Generous people) とだけしたものは認めない。 (この区分0点 (-8点))。
<p>※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。 *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-1点。</p>	

【3】-Q1 (12点満点)

〈問題部分〉

Translate the underlined part (1) into Japanese.

(第1段落の下線部(1)を日本語に訳せ)

〈解答例〉

彼がどのような経験をしているのか私にはわからず、そのため彼に寄り添うことも難しかった。

【下線部(1)】

I didn't know what he was going through, which also made it difficult for me to be there for him.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
I didn't know 私はわからなかった	2点	
what he was going through, 彼がどんなことを経験しているのか	2点	<ul style="list-style-type: none"> • go through は「経験する, 体験する, 直面する」など。 • go through に「聞いている, 聞こえている」は不可。 • he は「兄」「弟」も可。
which そのことが/そのことによって/~だったので, ...	2点	<ul style="list-style-type: none"> • which が前の節を先行詞とする関係代名詞だと分かっているものは不可。
also また/~も	2点	<ul style="list-style-type: none"> • also の訳漏れは不可。
made it difficult 難しくした	2点	<ul style="list-style-type: none"> • it が形式目的語であることが分かっているものは不可。
for me to be there for him (私が/私にとって) 彼に寄り添うこと	2点	<ul style="list-style-type: none"> • for me は訳出がなくても暗に分かれれば認める。 • be there for him 「(彼の) 味方になる, 力になる, (彼を) 助ける,」など広く認める。
<ul style="list-style-type: none"> • 区分内に1カ所でも誤りがあれば, その区分は-0点。 		

【3】－Q2 (10点)

〈問題部分〉

Regarding underlined part (2), summarize in Japanese what the consequences of “these miscommunications” could be.

(下線部(2) について、「these miscommunications (こうした意思伝達の違い [聞き間違い])」はどのような結果をもたらさうか、日本語でまとめなさい)

〈解答例〉

人と交流するのに苦勞するため孤立感を覚え、ひどい場合は社会から引きこもってしまう。

【下線部(2)】

(2) These miscommunications can lead to individuals feeling isolated as they struggle to take part in social interactions, ultimately leading them to withdraw from society.

(2) こうした聞き間違いによって、彼らは人付き合いに加わることに苦勞するため孤立感を覚え、ついには社会から引きこもることにさえなりかねない。

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

配点	項目
① 2点	① feeling isolated (孤立感を覚える)
② 4点	② they struggle to take part in social interactions (人付き合いに [社会的な関わり合い] 加わることに苦勞する [悩む])
③ 4点	③ withdraw from society (社会から引きこもる / 人付き合いをしなくなる)
<p>※①, ②, ③の順序は問わない。 ※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても 0点。 ※その他, 部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき－1点。 *必須項目以外のことが書かれていても, 間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜－1点。</p>	

【3】－Q3 (10点)

〈問題部分〉

Regarding underlined part (3), explain in Japanese specifically what the author wants to see happen.

(下線部(3)について、筆者はどんなことが起こるのを見たいと望んでいるのか、日本語で具体的に説明しなさい)

〈解答例〉

自分たちきょうだいが生きている間に、研究が進んで聴力そのものの回復が可能になること。

【下線部(3)】

In my and my brother's lifetimes, (3)I'd like to see research make that possible.

私たちきょうだいが生きている間に、(3)研究がそれを可能にするのをこの目で見たいと思っている。

【該当箇所】

今日まで、感音性難聴に対する治療法はまだない。たとえば補聴器や人工内耳など、音を増幅させる先進技術機器はあるものの、それらは聴力を回復させるものではない。

To this day, there is still no cure for sensorineural hearing loss. We have advanced technological devices that amplify sound, such as hearing aids and cochlear implants, but these still don't restore hearing.

配点	項目
10点	<p>cure for (sensorineural) hearing loss 「(感音性) 難聴の治療法」が開発されること restore hearing 「聴力の回復」が可能になること <u>のどちらかに</u>相当する事柄を中心に、適切に説明していれば満点 (10点)</p> <p>※上記のいずれもないものは0点。 ※上記のいずれかが含まれているが、論点がそこにはないものは-5点。</p>
<p>※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。 *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-1点。</p>	

【3】-Q4 (10点)

〈問題部分〉

Regarding underlined part (4), explain in Japanese how “hair cells” differ between mammals and other animals.

(下線部(4)について、哺乳類と他の動物とでは、「hair cells (有毛細胞)」はどのように違うか、日本語で説明しなさい)

〈解答例〉

哺乳類の場合は一度損傷すると元に戻らないが、他の動物では自然に再生する。

【下線部(4)】

Sensorineural hearing loss occurs as a result of damage to the inner ear organ, which has sound-sensing (4) hair cells that are responsible for hearing.

感音性難聴は内耳器官の損傷の結果として起こる。この器官には音を感知する(4) 有毛細胞があり、それが聴覚をつかさどっている。

【該当箇所】

哺乳類：In humans and other mammals, any damage to hair cells is irreversible.

「人間を含む哺乳類では、有毛細胞は一度損傷すると元に戻せない」

他の動物：Other animals, such as birds, fish, amphibians and reptiles, can spontaneously regenerate their hair cells, meaning that any hearing loss they develop is only temporary.

「鳥や魚、両生類、爬虫類といった他の動物では、有毛細胞は自然に再生されるため、難聴になっても一時的なものにすぎない」

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

配点	項目
① 5点	① mammals (哺乳類) の場合 any damage to hair cells is irreversible (損傷すると元に戻せない [戻らない, 治らない]) ※mammals が「哺乳類」だと分かっていない誤りや、英語のままにしたものは-2点。
② 5点	② other animals (他の動物) の場合 can spontaneously regenerate (their hair cells) (有毛細胞は) 自然に再生される [再生する, 治る])
<p>※①、②の順序は問わない。 ※趣旨そのものが大きく違っている解答は部分的に要素が含まれていても 0点。 哺乳類の場合と他の動物の場合を、逆にしているものは0点。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。 *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-1点。</p>	

【4】(15点+15点=30点満点)

1. 語数・英語の正しさ

1. 語数・段落数

- 1) 第1パラグラフ…要約 (50語程度) **15点満点**
 - ①**50語程度**から大きく離れているものは**0点**。
 - ②要約を複数のパラグラフに分けて書いているものは**-5点**。
- 2) 第2パラグラフ…意見 (50語程度) **15点満点**
 - ①**50語程度**から大きく離れているものは**0点**。
 - ②意見を複数のパラグラフに分けて書いているものは**-5点**。

2. 形式

右スペースを多く残して不自然な改行をしているものは **-5点**。

3. 英語の正しさ

軽微なスペルミスは **1点減点**。

冠詞・単複・動詞の語形の誤り, 語句の誤りなどすべて1箇所につき **2点減点**。

文構造に関わるような広範囲な誤りは **4点減点**。

2. 内容面

1. 第1段落 (記事の要約) 【配点 15点】 ※15点以上は引かない。

- ① (記事の第1段落の要約)

「(気候) 科学者が地球温暖化を認めている」に相当する内容がない場合**-5点**。
- ② (記事の第2段落の要約)

「地球温暖化の原因」に全く触れていない場合**-5点**。

上記以外は, 内容不足による減点はしない。

- ・ただし, 内容的な誤りがある箇所は1箇所につき **2点減点**。

2. 第2段落 (自分の意見) 【配点 15点】 ※15点以上は引かない。

以下の設問指示を無視しているものは, 英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。(この項目は明らかに問題のある極端なものがあった場合についてのみ適用)

your opinion about what should be done to prevent harms from global warming

「地球温暖化の被害を防ぐために何をすべきか」についての意見

- ・全く無関係な事柄について書いているもの (**-15点**)
- ・意見の論点が「被害を防ぐ」からずれているもの (**-4点**)

3. 文法・語法の誤りとは別次元で, 文・節レベルで内容的に何を言っているのか伝わらない箇所は**-4点**。

4. 記事の表現をほぼ丸写ししただけの文は**-4点**。(全体的に写しているものは**0点**)

【5】－(1) (12点満点)

〈問題部分〉

過去を知ること、私たちはどこから来て、なぜ今の姿があるのかを理解することができるのです。

〈解答例1〉

Knowing the past helps us to understand where we came from and why we are what we are.

(過去を知るとは、自分たちがどこから来て、なぜ今のような自分たちであるのかを理解するのに役立つ)

〈解答例2〉

We can understand our roots and why we are the way we are by studying history.

(私たちは、歴史を研究することで、自分たちのルーツや、なぜ今の自分たちがこのようであるのかを理解することができる)

- 次の区分に分けて採点し、**区分を超えての減点はしない。**
- ※全体が未完成でも書いてある区分については採点する。
- ※内容を適切に伝えていれば表現は広く認める。

区分	大区分	小区分	備考
過去を知ること、	6	3	
理解することができるのです。		3	
私たちはどこから来て、	3	3	
なぜ今の姿があるのかを	3	3	
<ul style="list-style-type: none"> ・大区分全体として構造的に意味が通らないものはその大区分0点 (大区分の点数をまとめて減点)。 ・語句レベルの誤りを含む箇所は、該当する小区分の得点を減点。 ・軽微なミス：単語のスペルミス、可算不可算・冠詞の誤りは-1点。 			

【5】－(2) (15点満点)

〈問題部分〉

世界がどこに向かっているのか不透明な時代に、歴史は現在だけでなく未来に向き合う力を私たちに与えてくれます。

〈解答例1〉

In a time when it is not clear how the world will turn out, history gives us the tools needed to think about the future as well as the present.

(世界がどうなるかはっきりしない時代に、歴史は現在だけでなく未来を考えるために必要な道具を私たちに与えてくれる)

〈解答例2〉

We live in an age where we don't know what the future will be like, but by studying history, we can gain the abilities needed to face not only the present but also the future.

(私たちは未来がどのようなものになるかわからない時代に生きているが、歴史を勉強することで、現在だけでなく未来と向き合うために必要な能力を身につけることができる)

● 次の区分に分けて採点し、**区分を超えての減点はしない。**

※全体が未完成でも書いてある区分については採点する。

※内容を適切に伝えていれば表現は広く認める。

区分	大区分	小区分	備考
世界がどこに向かっているのか	6	3	
不透明な時代に		3	
歴史は	3	1	
私たちに		1	
与えてくれます		1	
現在だけでなく未来に	6	3	
向き合う力を		3	
<ul style="list-style-type: none"> ・大区分全体として構造的に意味が通らないものはその大区分0点 (大区分の点数をまとめて減点)。 ・語句レベルの誤りを含む箇所は、該当する小区分の得点を減点。 ・軽微なミス：単語のスペルミス、可算不可算・冠詞の誤りは-1点。 			